

321 (注意) 採点に際しては、「採点上の注意」とともに、資料文や設問を十分検討すること。

に基づき、細部の採点基準を作成して採点する」と。

平成二十七年度 採点の手引(国語)その2

問題	評価の観点	採点上の注意	配点		
				課題と関連する内容	選んだ意見をもとに、その理由を含めて自分の考えが書かれているか。
配点合計	5	○自分の体験をふまえて書かれているか。	16	○選んだ意見をもとに、その理由を含めて自分の考えが書かれていなければ、8点を減ずる。 ○自分の体験(見たこと聞いたことなども含む)をふまえて書かれていなければ、8点を減ずる。	○採点は「評価の観点」に従い、16点からの減点法で行う。 ○部分点は整数とし、0点を下回らない。
	2 文 章	○文章としてまとまっているか。また、段落や構成に注意して書かれているか。			
	○指示された文章の長さであるか。				
	○文脈(主・述の照応など)、用語などに不適切なところはないか。				
	○原稿用紙の正しい使い方に従っているか。				
100	3 表 記	○文字・語句・くぎり符号・仮名遣いなどの表記上の誤りや不適切なところはないか。 ○誤りや不適切なところの多少に応じて、1~4点を減ずる。			